

第9回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム
—薬学におけるレギュラトリーサイエンスの教育、研究と科学性—

- 1 日時： 平成24年12月13日（木） 開演 午前10時（9時から受付開始）
- 2 会場： 慶應義塾大学薬学部1号館 B1 マルチメディア講堂
105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30
- 3 主催： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会
慶應義塾大学薬学部 レギュラトリー・サイエンス講座
- 4 趣旨：わが国起源の新薬研究開発促進や、ドラッグラグの解消、また医薬品の有効性・安全性向上などの観点から、レギュラトリーサイエンスの重要性が指摘され、科学としての一層の充実やその適切な応用が望まれている。一方、当該領域の教育や人材育成の面から薬学教育を振り返ると、モデルコアカリキュラムへの収載はなされているが、教材やシラバス等の確立には至っていない。薬学教育6年制がようやく定着した中、行政、アカデミア、産業分野など関連する領域よりレギュラトリーサイエンスの専門家や関係者が集い、教育、研究のあり方やその方向性を探る。

プログラム

※プログラムの内容については、今後変更になる可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

- 10:00－10:05 開会挨拶 笠原 忠（慶大薬理事）
- 10:05－10:55 基調講演1 内海 英雄（PMDA 理事）
- 10:55－11:45 基調講演2 竹中 登一（（財）ヒューマンサイエンス振興財団 会長
京都大学大学院医学研究科 特任教授）
- 11:45－12:30 ラウンドテーブルディスカッション：座長 黒川 達夫（慶大薬）
「医薬品レギュラトリーサイエンス：相互の期待とそれぞれの責任」
内海 英雄、竹中 登一、望月 眞弓（慶大薬）
- 12:30－13:30 休 憩
- 13:30－15:10 シンポジウム 1：
「レギュラトリーサイエンス：学部教育、教科書のあり方とイメージ」
座長 豊島 聡（武蔵野大学薬学部レギュラトリーサイエンス研究室）
- 13:30－13:40 薬学部教育における医薬品レギュラトリーサイエンス教科書のイメージ
豊島 聡（武蔵野大学薬学部レギュラトリーサイエンス研究室）
- 13:40－14:05 薬学部・薬科大学における医薬品レギュラトリーサイエンス教育
児玉 庸夫（城西国際大学薬学部）

14:05－14:30 製薬企業の求めるレギュラトリーサイエンス履修薬学生と教科書

加山 誠 (アステラス製薬)

14:30－14:55 行政 (医薬品の承認審査・安全対策等) の求めるレギュラトリーサイエンス履修薬学生と教科書

宇山 佳明 (PMDA)

14:55－15:10 ディスカッション

15:10－15:30 休 憩

15:30－17:15 シンポジウム 2 :

「医薬品規制・中小規模 R&D 指向企業・受託試験研究機関 (企業) ・

医療消費者から見たレギュラトリーサイエンス」

座長 平山 佳伸 (厚生労働省)

15:30－15:50 平山 佳伸 (厚生労働省)

15:50－16:10 富山 格 (寿製薬 (株))

16:10－16:30 一木 龍彦 (イーピーエス(株))

16:30－16:50 倉田 雅子 (納得して医療を選ぶ会)

16:50－17:15 ディスカッション

17:15－17:20 閉会の辞 大野 泰雄

(国立医薬品食品研究所、レギュラトリーサイエンス部会長)

5 参加費 : [事前登録] 平成 24 年 11 月 12 日 (月) ～12 月 3 日 (月)

薬学会会員 2,500 円 非会員 3,000 円 学生 500 円

[当日参加] 薬学会会員 3,000 円 非会員 4,000 円 学生 1,000 円

定員 (200 名) になり次第、募集登録を終了します。

6 申込・問合せ :

氏名 (フリガナ)、所属、連絡先 (住所,TEL,FAX,E-mail)、また日本薬学会会員及び学生はその旨を記載し、kalon-at@pha.keio.ac.jp までメールでお申込みください。

慶應義塾大学薬学部レギュラトリー・サイエンス講座 担当 カロン敦子、黒川 達夫

e-mail: kalon-at@pha.keio.ac.jp 電話 : 03-5400-2495

所在地 : 105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30 慶應義塾大学芝共立キャンパス